

金融市場NOW

# インフレ圧力の高まりから悪化する米・ユーロ圏の景況感

急速な金融引き締めを受けて、米・ユーロ圏の景況感は50を割り込む可能性も

- ▶ 高まるインフレ圧力から米・ユーロ圏の総合PMIが前月より悪化した一方で、欧米と比較して相対的にインフレ率が低い日本の総合PMIは前月より上昇。
- ▶ 海外からの入国制限緩和等を受けて、日本のサービス業景況感は大幅に改善。
- ▶ 利上げ継続により景気が減速するとの見方が強まりつつあり、今後景況感がさらに悪化することも。

## ～米・ユーロ圏の景況感が前月より低下～

S&Pグローバルが23日に発表した6月の米国総合PMI（購買担当者景況感指数、速報値）は51.2と5月の53.6から2.4ポイント低下しました。また、ユーロ圏の総合PMIも51.9と5月の54.8から2.9ポイント低下しました。一方、日本の総合PMIは53.2と5月の52.3から0.9ポイント上昇しました（図表1）。米・ユーロ圏では前年同期比で8%を超える高いインフレ率が景況感を低下させたとみられる一方で、米・ユーロ圏と比較して相対的にインフレ率が低い日本ではインフレが景況感の低下要因とはならなかったと思われる。

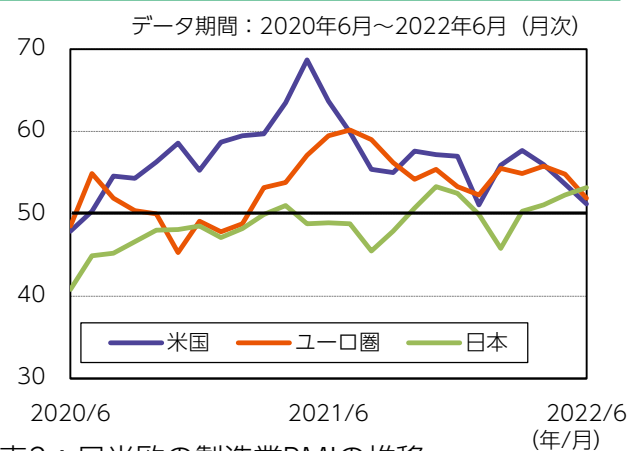
## ～入国制限緩和により日本のサービス業が上昇～

製造業PMIは米国が52.4(前月比-4.6)、ユーロ圏が52.0(同-2.6)、日本が52.7(同-0.6)といずれの国・地域も前月から低下しました（図表2）。ウクライナ危機の長期化などにより、供給網の混乱が続いていることが影響していると考えられます。サービス業PMIは米国が51.6(同-1.8)、ユーロ圏が52.8(同-3.3)と低下した一方で、日本は54.2(同+1.6)と前月より上昇しました（図表3）。日本では6月に海外からの入国制限が緩和されたこともあり、観光業を中心に景況感が改善したとみられます。

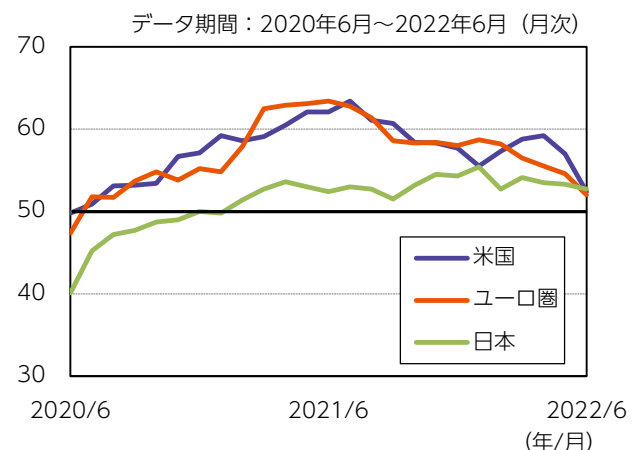
## ～景気減速懸念から景況感は50割れも～

ウクライナ危機の長期化を受けたエネルギー価格の高騰や供給網の混乱などにより、これまでと違い日本においても足元の価格上昇圧力が高まっていることが報告されています。日本を除く各国・各地域の中央銀行が今後も利上げを継続する可能性が高いとみられており、景気が減速するとの見方が強まりつつあります。世界的に継続的な利上げが予想されることから、今後景況感は好不況の境目となる50を割り込む可能性もあると思われる。

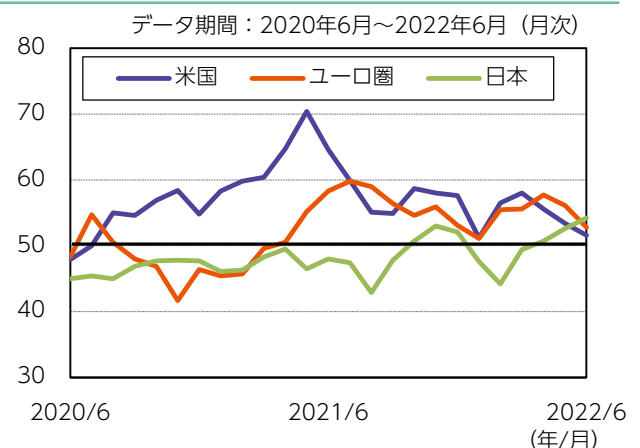
図表1：日米欧の総合PMIの推移



図表2：日米欧の製造業PMIの推移



図表3：日米欧のサービス業PMIの推移



## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506  
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）  
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>